



学校教育目標 社会に貢献しながら、
自立する生徒の育成
～気づき、考え、実行する～

やまゆり

校訓 「和 の 心」

指導重点

- ① 居心地がよく、やる気のある
学級集団・学校づくり
- ② 確かな学力の育成
- ③ 豊かな心の育成
- ④ 健やかな身体の育成
- ⑤ 特別支援教育の推進
- ⑥ 生徒の良さを伸ばし、課題を解決するための
「連携・協働」の推進



6月が終わり7月へ 若鮎祭 体育の部

第52回若鮎祭（体育の部）が、6月6日（土）に行なわれました。

体育の部と文化の部を分けて行う、分離開催で、生徒会スローガンは、『Be yourself』です。これは「素直であれ」「自分らしく」という意味で、「主体性にあふれ自分らしくいられる居心地の良い学校に」という願いが込められています。競技は3つにしぼりました。雨天時も順延せず実施できるよう体育館で行う場合も想定して競技を考えました。また、主体的に作り上げる若鮎祭をより楽しみ、どの種目も学年関係なく協力してできる競技を考えました。取組から当日まで、3年生を中心に、生徒たちはよく頑張りました。生徒会スローガンの通り、『主体性あふれる、居心地のよい学校』へと、大きな力を発揮してくれました。生徒たちの真剣な表情、まなざしを多くの場面で感じる事ができました。



若鮎祭体育の部振り返り

- ・みんなで協働することや目標をもって何事にも取り組む大切さが学べた。文化の部やこれからの活動につなげていきたい（1年生）
- ・3年生に頼りっぱなしではなく、自分から協働することの大切さを知ることができた。（2年生）
- ・異学年交流でみんなの意見を取り入れたり、一人でいる人に話しかけたりすることで、孤立をなくすことができた。（3年生）

（個人の振り返りより抜粋）



当日は、たくさんの保護者やご家族、来賓の皆様にご来場いただきました。競技にもご参加いただき、会場を盛り上げていただきました。ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。



若鮎祭文化の部に向けて

体育の部を終え、成果と課題を明らかにして、9月に実施する文化の部に向けて、気持ちを新たにしています。生徒総会で、文化の日に向けての取り組みが提案され、決定し、保護者の皆様には、多くの場面で、ご理解とご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。